

「異常行動 B-E」に対する OR [1,121/ 9,661]

要因	cr OR (95% CI)	adj OR (95% CI)*
タミフル(有/無)	0.90 (0.78-1.04)	0.64 (0.52 -0.79)
性(男/女)	1.25 (1.10-1.42)	1.21 (1.05-1.40)
年齢(vs. <5)		
5 +	1.01 (0.87-1.17)*	1.07 (0.90-1.27)*
10 +	0.41 (0.34-0.50)*	0.51 (0.41-0.64)*
予防接種(有/無)	1.29 (1.13-1.46)	1.13 (0.98-1.32)
迅速診断(A /他)	1.41 (1.24-1.60)	1.30 (1.09-1.56)
アセトアミノフェン(有/無)	1.21 (1.07-1.38)	1.17 (0.98-1.40)
異常行動既往(有/無)	8.83 (6.22-12.5)	9.97 (6.39-15.6)
最高体温(vs. <39.0)		
39.0+	1.49 (1.24-1.78)*	1.37 (1.12-1.67)*
39.5+	2.74 (2.33-3.22)*	2.27 (1.88-2.75)*

*Conditional logistic model

8,763人の計算

*Trend P<0.0001

「異常行動 A」と「全異常行動」に対する adj OR [10歳未満]

要因	A [25/6,434]	全 [952/6,447]
タミフル(有/無)	0.89 (0.17-4.74)	0.64 (0.50 -0.81)
性(男/女)	3.09 (1.01-9.41)	1.13 (0.97-1.33)
年齢(5-9/ <5)	0.46 (0.15-1.45)	1.03 (0.86-1.23)
予防接種(有/無)	0.42 (0.14-1.26)	1.12 (0.95-1.32)
迅速診断(A /他)	0.43 (0.11-1.70)	1.26 (1.03-1.55)
アセトアミノフェン(有/無)	1.04 (0.31-3.50)	1.24 (1.01-1.52)
異常行動既往(有/無)	12.2 (1.69-88.2)	9.73 (5.82-16.2)
最高体温(vs. <39.0)		
39.0+	7.06 (1.17-42.5)	1.38 (1.10-1.74)*
39.5+	4.27 (0.66-27.6)	2.11 (1.69-2.62)*

Conditional logistic model、「異常行動 A」5,817人と「全異常行動」5,827人の計算

*Trend P<0.0001

「異常行動 A」と「全異常行動」に対する adj OR [10歳以上]

要因	A [11/3,260]	全 [223/3,265]
タミフル(有/無)	1.54 (0.09–26.2)	0.91 (0.54 –1.53)
性(男/女)	28.7 (1.10–749)	1.70 (1.18–2.45)
年齢(1歳上昇毎)	0.69 (0.27–1.74)	0.65 (0.57–0.75)
予防接種(有/無)	0.65 (0.06–6.80)	1.02 (0.68–1.51)
迅速診断(A /他)	7.16 (0.38–136)	1.48 (0.94–2.33)
アセトアミノフェン(有/無)	31.0 (0.04–25364)	0.87 (0.55–1.37)
異常行動既往(有/無)	128 (0.34–47713)	12.8 (4.54–36.1)
最高体温(vs. <39.0)		
39.0+	1.54 (0.12–19.8)	1.67 (1.03–2.70)*
39.5+	2.11 (0.17–26.6)	4.05 (2.58–6.37)*

Conditional logistic model、「異常行動 A」2,980人と「全異常行動」2,985人の計算

*Trend P<0.0001

報告内容

1. 平成 17・18 年度横田班の調査
 2. 平成 19・20 年度現研究班
データベース作成、および解析開始
 3. Selection bias と解析の枠組み
 4. 小児科医による自由記載欄の精査
 5. 解析実施、および結果
 6. 結論と考察、結語
-

結 論

オセルタミビル使用と異常行動発現の間に、
正の関連を検出するには至らなかった。

この結論は、調査データの特性（後述）に鑑み、慎重に解釈すべきである。

考察（結果の解釈）

OR 高値と関連（異常行動 A）

- ・男性：異常行動が確認されやすい？
- ・異常行動の既往：
高リスク因子として plausible. Recall bias による過大評価？
- ・最高体温：高リスク因子として plausible

OR 高値と関連

- ・インフルエンザワクチン接種：
接種を受けさせる保護者は異常行動を報告し易い？
- ・A型ウイルス感染：最高体温と関連、最高体温による調整不十分？
- ・アセトアミノフェン：最高体温と関連、最高体温による調整不十分？

OR 低値と関連

- ・年長：低リスク因子として plausible

考察（調査データの特徴）

1. データの信頼性

- Open question が多い
- 同一情報に関する複数質問項目の不整合

医師記入用調査票

患者家族記入用調査票（時間軸記入、自由記載）

2. 選択バイアス

本当に克服できたのか？

3. 時間性

タミフル服薬時刻に関する情報は時間軸記入票のみ
異常行動発現時刻とタミフル服薬時刻の整合？